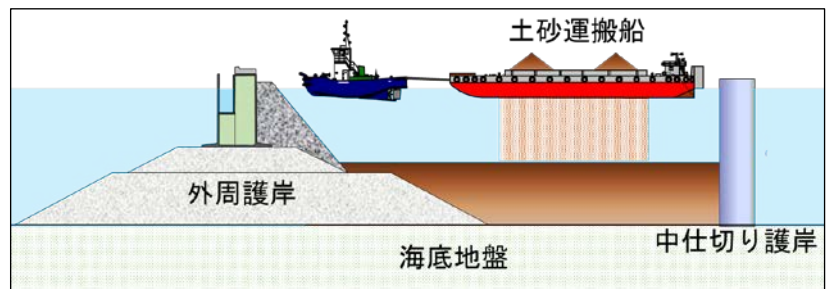


新本牧ふ頭第1期地区埋立に伴う土砂の受入れを開始しました

「国際コンテナ戦略港湾」である横浜港では、高度な流通加工機能を有する倉庫群等のロジスティクス施設(第1期地区)と、大水深・高規格コンテナターミナル(第2期地区)からなる新たな物流拠点として、新本牧ふ頭の整備を推進しています。

本日(10月27日)より、第1期地区の埋立に伴い、市内公共工事やリニア中央新幹線事業の建設発生土等の受入れを開始しましたので、お知らせいたします。

【計画概要図】



埋立のイメージ

【これまでの経緯】

- 平成26年12月 港湾計画へ位置付け
- 平成29年3月～31年3月 環境影響評価を国土交通省と横浜市が共同で実施
- 平成31年4月 第2期地区について、国直轄事業として新規事業採択・予算化
- 令和元年11月 第1期地区の公有水面埋立免許の取得および第2期地区の埋立の承認
- 令和2年2月 第1期地区 工事着手
- 令和2年5月 第2期地区 工事着手(国直轄事業)
- 令和3年10月 第1期地区 埋立開始

お問合せ先

港湾局新本牧事業推進課長

米森 勝行 Tel 045-671-7373